

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社九州テン 本社
所在地	長崎県佐世保市小佐々町葛籠 278-18
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) 福岡市博多区博多駅前 2-19-27
業種	製造業
電話番号	0956-80-2000
ホームページ	https://www.qten.co.jp/

Well-being 向上 に向けた取組み	1) テレワークやシフト勤務ができる環境の整備 2) 年次有給休暇取得の推進 3) 時間休、半日休暇、積み立て休暇制度の導入 4) 社内サークル活動推進及び支援 5) 健康経営の推進 6) ボランティア活動の推進 7) 企業内スポーツ施設の整備		
アンケート実施	☐	アンケートの 社内共有	☐

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: 株式会社九州テン

カテゴリー	チェック項目	3側面該当		具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																	
		環境	社会		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○	・男女格差のない人事制度を構築している。 ・定年年齢の及び、再雇用上限をそれぞれ、62歳と67歳に引き上げ、高齢者が活躍できる環境を整備している。 ・ジェンダー平等に関する研修を実施している						○			○	○								
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○	・年次有給休暇、年間15日以上取得を目標に全社で推進している。 ・年次有給休暇の半日、時間での取得を可能にしている。 ・テレワーク制度やシフト勤務制度など柔軟な制度を構築している。 ・積立休暇制度を導入し、治療や子の看護、ボランティア活動などに利用できるようにしている。						○			○	○								
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○	・webにてハラスメントに関する相談窓口を設置している。 ・ハラスメント教育を実施している。 ・介護や育児に関しての相談窓口を設置している。						○			○	○							○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○	・健康経営優良法人2025の認定を受け、認定基準を満足する健康経営施策を実施している。 ・従業員の健康を資本ととらえ、健康づくりができる環境を整えている。 ・メンタルヘルスチェックは50人未満の事業所でも実施している。				○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○	・新入社員研修、昇格者研修などの階層別教育制度を構築し、教育訓練の機会を提供している。 ・業務に合わせた技術習得のための教育訓練を実施している。 ・35歳、45歳、55歳、65歳と人生の区切りを振り返る年齢別教育を実施している。							○	○		○	○							
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	・環境マネジメントシステム(ISO4001)を取得し、認定基準に準じた活動を行っている。 ・ISO14001の基本方針として(1)環境に配慮した製品の提供、(2)3Rの推進、(3)地球温暖化対策(Co2排出の抑制)(4)生物多様性保全活動の推進を掲げている。					○		○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	・LED照明を利用している。 ・エアコンを集中管理することで、エネルギーを効率的に利用している。 ・自転車通勤を推奨し、自転車通勤者には「省エネ奨励通勤手当」を支給している。								○					○	○				
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	・福岡県水源の森基金に賛同している ・エコ活動を学ぶ小中学校の活動に協力している。 ・従業員へ地産地消を推進している。								○						○	○	○	○	
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○		佐世保工場では雨水再生装置を設置し、雨水を再利用し、トイレや屋外散水に活用している。							○											
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○	・品質マネジメントシステム(ISO9001)を取得し、各事業所が品質方針に合致した事業活動を行っている。 ・毎年顧客アンケートを行い、顧客の意見を製品へ反映している。					○										○			
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	・自社事業や自社製品が社会課題の解決にの一翼を担っていることを、経営者は適宜発信している。 ・九州大学と産学連携し、新しい製品の開発に取り組んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○		・個人情報などの保護に関する方針を策定している。 ・社内研修を行い、情報管理のルールを周知徹底している。 ・情報システムマネジメントシステム認証を取得し継続している。																	○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○		・法令遵守については「従業員行動規範」に規定し、クレド化し、いつでも確認できるよう全社員に配布している。 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組み・ルールを整備している。																	○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○		・経営理念を明文化している。 ・経営理念をクレド化し、全員に配布している。 ・経営者が理念を持ち、適宜、経営理念・経営目標を社員に説明し、共有している。 ・行動憲章や経営目標は全事業所に掲示している。									○	○							○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	・事業継続計画(BCP)を策定している。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を構築している。 ・専任部門が事業継続に関する計画書を策定している。 ・災害時には安否確認システムで従業員の安否が確認できるシステムを構築している。										○	○			○			○	